県央・宇都宮版

最多145万人が来園

17年度 テレビ、物産展効果

宇都宮「ろまんちっく村」

【宇都宮】「うつのみやろまんちっく村」（新里町）の来園者数が昨年度、1996年の開園以来最多の145万6568人となった。46㌶の広大な敷地に宿泊施設もあるユニークな道の駅として全国ネットのテレビ番組で繰り返し放送されたことや、夏と秋に開催した沖縄の物産展などが入園者増につながったとみられる。（鈴木直志）

ろまんちっく村の直売所は平日でも多くの買い物客らでにぎわう

来園者数は、東日本大震災の影響で2010年度は100万人を割ったが、11年度以降、増え続けている。15年度が140万7554人、16年度は142万4638人と連続で過去最多を更新した。

ろまんちっく村は、08年度「ファーマーズ・フォレスト」（新里町、松本謙一社長）が第三セクターから運営を引き継ぎ、指定管理者となった。12年には道の駅としてリニューアルオープンし、農産物などの直売機能を強化した。

その成果は、地域再生の成功例としてメディアに紹介されることも多い。昨年11月には、テレビ東京の情報番組「カンブリア宮殿」で放送され、紹介されたパンやトマトの売り上げが急増、品切れになることもあったという。同社の原田和之経営戦略室長は「先進的な取り組みが認められたと実感した」と話す。

また沖縄県うるま市に同社の支店がある縁などから、昨年夏と秋に物産展、うるまフェアを開催。秋のフェアでは同時期に開催した道の駅5周年祭と合わせ、約2万8千人が来場した。

同園では、栃木デスティネーションキャンペーンに合わせ、ゴールデンウイーク（GW）期間中、「うるまフェア」「大谷石クラフト体験」「三陸海鮮市」などのイベントを開く。問ろまんちっく村028・665・8800。